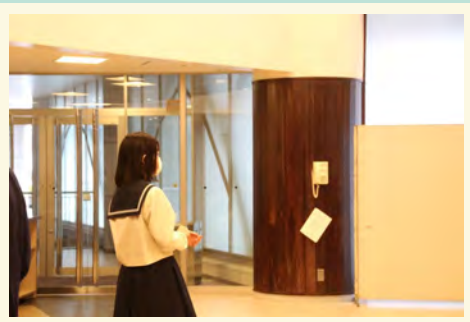
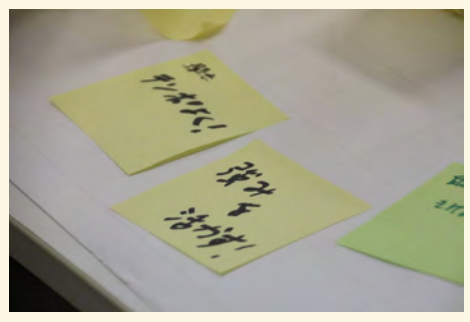




WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2022

活動報告書

学生団体 WAKA×YAMA はこれからも
不条理な生きづらさをなくすべく活動してまいります



contents

はじめに

代表挨拶	03
メンバー紹介	04
学生団体 WAKA×YAMA とは	05
これまでの活動	06

WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2022 について

テーマ	07
アドバイザー・サポーター紹介	09
プログラムについて	10
ゲスト紹介	11
ヒアリング先紹介	12
2 ヶ月間の軌跡	13
シンポジウムについて	15
審査結果	16
チーム紹介	17
アイデアシート	18
広報実績	21
2022 度会計	23
ご支援いただいた皆さまへ	24
協賛企業一覧	25

代表挨拶

WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2022 を開催するにあたり、ご支援・ご協力いただきました皆さま、本当にありがとうございました。皆さまのおかげで、今年も私たちは中高生と共に「防災」という和歌山県が抱える社会問題に取り組むことができました。メンバーを代表して心より感謝申し上げます。 2020 年から猛威を振るっている COVID-19 という災害。我々の生活は、この未曾有の事態に大きく影響を受けました。これまで当たり前だった日常生活が当たり前でなくなった時、多くの人は「こんなことになるなんて」と感じたのではないのでしょうか。

地震という自然災害は、何の前触れもなく訪れ、一瞬にして人々の生活を奪います。命を繋いだ後にも「避難生活」という慣れない生活が待っており、過去の災害では終わりの見えない生活に苦しむ人が数多くいました。将来和歌山県を大地震が襲ったとき、避難生活で困る人をなくしたい。そんな想いで今年のテーマを設定しました。今年度は感染対策を講じながら、昨年度より参加中高生と対面することができ、大学生と中高生と一緒に悩みながらも「防災」という難しいテーマに 2 ヶ月間取り組んできました。教育プログラムでゲストによるご講演から知見を広めるだけでなく、各チーム毎にヒアリングも行いました。そしてその集大成を 10 月 10 日のシンポジウムで発表しました。今年はシンポジウムでの発表で終わるだけでなく、アイデアの実装にもこだわっています。アイデアソンは終わりましたが、あくまでここを一つの区切りとして今後も活動を続けてまいります。

学生団体 WAKA×YAMA がアイデアソンを開催したのは今年で 4 回目でした。本当に有難いことに、私たちの活動を応援してくださる方が年々増えています。私たち自身皆さまのご期待に応えられるよう、より一層成長してまいります。今後とも学生団体 WAKA×YAMA をよろしくお願いいたします。

2022 年度代表

山崎 稜大



メンバー紹介



代表
山崎 稜大
和歌山県立医科大学
医学部医学科 3 年



コアメンバー
湯川 舞夢
追手門学院大学
心理学部心理学専攻 1 年



中村 佳乃子
東京医療保健大学
和歌山看護学部看護学科 3 年



中田 朝陽
和歌山県立医科大学
医学部医学科 3 年



山本 明日美
和歌山県立医科大学
医学部医学科 3 年



白坂 涼真
和歌山県立医科大学
医学部医学科 2 年



井田 有美
和歌山県立医科大学
保健看護学部保健看護学科 2 年



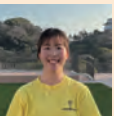
前谷 駿輔
関西大学
文学部総合人文学科 2 年



西家 航世
福井大学
医学部医学科 2 年



森田 萌々夏
和歌山県立医科大学
薬学部薬学科 2 年



藤田 愛理
東京医療保健大学
和歌山看護学部看護学科 2 年



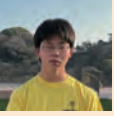
堀江 海聖
和歌山大学
経済学部 2 年



平野 莉子
和歌山大学
教育学部 2 年



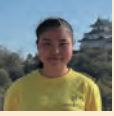
廣畑 真冬花
和歌山県立医科大学
保健看護学部保健看護学科 2 年



笠松 大祐
海上自衛隊
舞鶴教育隊 2 等海士



岡田 華奈
神戸大学
経営学部経営学科 1 年



椎崎 巴菜
宝塚医療大学
和歌山保健医療学部看護学科 1 年



荘村 賢人
和歌山県立医科大学
医学部医学科 1 年



玉置 未祈
東京医療保健大学
和歌山看護学部看護学科 1 年



田村 優唯
和歌山県立医科大学
保健看護学部保健看護学科 1 年



大曾根 里桜
和歌山県立医科大学
薬学部薬学科 1 年



神保 志穂
和歌山県立医科大学
保健看護学部保健看護学科 1 年



鳴神 和真
慶應義塾大学大学院
経営管理研究科



和歌山にゆかりのある大学生が集い、和歌山県における社会問題を解決することをミッションに掲げ、若者の力で持続的に課題解決を行っていくことを目指し活動しています。主なプロジェクトとして社会問題に対する解決策を創出する WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON を行い、ビジョンの実現を図ります。また、アイデアの実装を継続的に言い、地域に根付かせることを目指します。



- 設立 2018 年 5 月
- メンバー数 23 人
- 2022 年度代表 和歌山県立医科大学医学部医学科 3 年 山崎稜大

2018

- 団体設立
- 発達障がいテーマに WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2018 を開催



2019

- 「ちゃんって何だろう？」絵本作画



2020

- メンタルヘルスをテーマに WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2020 を開催
- 和歌山の自殺状況を背景に解決策の政策提言を行う



2021

- 防災をテーマに WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2021 を開催
- アドベンチャーワールドでのイベント「ドリームデイ・アット・ザ・ズー」にスマイルサポーターとして参加
- パワーオブワカヤマ〜ヒトニヒカリ〜での企画参加
- 第 12 回和歌山保健看護学会学術集会 最優秀賞受賞



2022

- 防災からより視点を絞った避難生活をテーマに WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2022 を開催
- 実装を見据えた防災訓練を開催



防災

- 被災後の身体、心、そして生活を守る -

テーマ背景



地震による犠牲者のうち、発災から時間が経ち、避難生活が始まってから命を落としている人がある。

一次災害だけでなく、**避難生活時の二次災害**に取り組む必要がある。

出典

- 1) 警察庁「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震の警察措置と被害状況」（2022）
- 2) 産経新聞「死者数 1 万 5900 人 震災 11 年、警察庁まとめ」（2022）
- 3) 復興庁「東日本大震災における震災関連死の死者数」（2022）
- 4) 内閣府「平成 28 年熊本地震」『ぼうさい』Vol.38,pp.4-7(2016)
- 5) 熊本県「平成 28（2016）年熊本地震等に係る被害状況について【第 312 報】」（2021）

テーマ背景

死者数⁶⁾

全国

約 **179,000** 人

和歌山県

約 **53,000** 人

被災 1 週間後の避難者数⁶⁾

全国

約 **8,800,000** 人

和歌山県

約 **390,000** 人

被災 1 週間後の停電件数⁶⁾



約 **150,000** 件

うつ病などの精神疾患が発症・悪化した人⁷⁾



12 %

避難所の食事の栄養が偏っていると感じた人⁸⁾



82 %

被災 1 週間後の断水人口⁶⁾



約 **610,000** 人

メンタルヘルスの維持

災害関連疾患の発生を減らす

より快適な避難生活にする

中高生が『防災』特に『避難生活』の課題に取り組む約 2 ヶ月間のプログラム

WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2022

アイデアを地域に根付かせる

出典

- 6) 内閣府「南海トラフ巨大地震の被害想定」（2019）
- 7) 内閣府「避難に関する総合的対策の推進に関する 実態調査結果報告書」（2015）
- 8) 仲野裕美など「阪神大震災における避難所の食事 - 避難生活者からみた配給食の実態 -」『日本食生活学会誌』Vol.7, No.1, pp.29-34.(1996)

アドバイザー

「防災」だけでなく、様々な専門的な視点から中高生の課題及び解決策にアドバイスをしていただき、またシンポジウムでの審査員も務めていただきました。



柳川敏彦 様

南紀医療福祉センター 院長
和歌山県立医科大学保健看護学部 特別顧問



益田充 様

日本赤十字和歌山医療センター 医師
外科専門医 | 救急部 | 精神科 |
国際医療救援要員



小山内世喜子 様

一般社団法人男女共同参画地域
みらいねっと 代表理事



佐藤翔輔 様

東北大学災害科学国際研究所 准教授

サポーター

プログラム運営、また中高生による地域へのアイデア実装に関わるサポートをしていただきました。



岡本光代 様

和歌山県立医科大学保健看護学部
准教授



古澤良祐 様

株式会社タカショーデジテック 代表取締役社長
フェスタルーチェ 実行委員会会長



山本雅史 様

株式会社アワーズ 代表取締役社長
(和歌山アドベンチャーワールド)



中井政義 様

サクセスプラン 代表
一般社団法人防災プロジェクト 代表理事

プログラムについて

プログラム名	WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2022
主催	学生団体 WAKA×YAMA
テーマ	防災～被災後の心、身体、そして生活を守る～
期間	2022 年 8 月 7 日－2022 年 10 月 2 日（教育プログラム） 2022 年 10 月 10 日（シンポジウム）
内容	和歌山県内外のアドバイザー・サポーターなどの支援のもと、大学生が中高生向けの教育プログラムを運営した。 新型コロナウイルスへの配慮から、オンラインのプログラムと対面のプログラムを併用して行った。6 月下旬から 7 月上旬に参加を希望する中高生 22 チーム（63 名）に対して面接を行い、9 チーム（23 名）が選考通過した。プログラム開始前にプレヒアリング A・B を開催し、事前に知識を得る機会を設けた。8 月 7 日から 10 月 2 日の教育プログラムの期間で自治体の防災担当者や語り部、ボランティアなどにヒアリングを行い、避難生活における課題を見つけ出し、解決策を考えた。またプレゼン練習 DAY を設け、プレゼンの質を上げることに取り組んだ。10 月 10 日のシンポジウムでは、これまで考案した課題と解決策のプレゼンテーションを行った。日程としては下記のように行った。 （詳しくは「P.13 2 ヶ月間の軌跡」で記述する。）

スケジュール

6 月下旬～7 月上旬	面接
7 月 24 日・31 日	プレヒアリング A・B
8 月 7 日	キックオフ・デザイン思考 DAY
8 月 21 日	課題設定 DAY
8 月 28 日	ソリューションズ DAY
9 月 4 日	メンタリング DAY
9 月 11 日	中間報告 DAY
9 月 18 日	プロトタイプ DAY
10 月 2 日	登壇チーム選考会
10 月 9 日	プレゼン練習 DAY
10 月 10 日	シンポジウム

ゲスト紹介

7/24 プレヒアリング A・B



中井政義様

サクセスプラン代表
一般社団法人防災プロジェクト 代表理事



気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館 中高生語り部 様

8/7 キックオフ・デザイン思考 DAY



土井仁 吾様

株式会社 omochi 代表取締役

8/21 課題設定 DAY



増田奈保子様

大阪大学医学部医学科 5 年
inochi WAKAZO Project 2020 代表

8/28 ソリューションズ DAY



林美由貴様

自然環境教育企画南風舎 代表
和歌山県キャンプ協会 理事

9/11 中間報告 DAY



岡本光代様

和歌山県立医科大学保健看護学部
准教授



古澤良祐様

株式会社タカショーデジテック 代表取締役社長
フェスタルーチェ 実行委員会会長



中井政義様

サクセスプラン代表
一般社団法人防災プロジェクト 代表理事



清元佑紀様

独立研究法人国立国際医療研究センター
総合診療科 医師
一般社団法人 inochi 未来プロジェクト推進委員

9/18 プロトタイプ DAY



天野将明様

京都府立医科大学医学部医学科 5 年

10/2 登壇チーム選考会



岡本光代様

和歌山県立医科大学保健看護学部
准教授



南出考様

和歌山県社会福祉協議会
和歌山大学災害ボランティアセンター



村田七海様

和歌山県立医科大学医学部医学科 6 年

10/10 シンポジウム



柳川敏彦様

南紀医療福祉センター 院長
和歌山県立医科大学 保健看護学部 特別顧問



益田充様

日本赤十字和歌山医療センター 医師
外科専門医 | 救急部 | 精神科 |
国際医療救援要員



小山内世喜子様

一般社団法人男女共同参画地域
みらいねっと 代表理事



佐藤翔輔様

東北大学災害科学国際研究所 准教授



古澤良祐様

株式会社タカショーデジテック 代表取締役社長
フェスタルーチェ 実行委員会会長



山本雅史様

株式会社アワーズ 代表取締役社長
(和歌山アドベンチャーワールド)



戸田正人様

和歌山市議会 議長

ヒアリング先紹介

課題の設定、解決策をブラッシュアップさせる等、様々な面でヒアリングにご協力いただきました。企業から個人で活動されている方までご紹介します。

- 一般社団法人男女共同参画地域みらいねっと 代表理事 小山内世喜子 様
- 歌う防災士しほママ 柳原志保 様
- 大川小学校児童遺族 語り部 只野英昭 様
- 株式会社ウフル CRO（主任研究員）古城篤 様
- 株式会社タカショーデジテック 様
- 熊本市環境局資源循環部廃棄物計画課 様
- 公益財団法人日本ケアフィット共育機構 経営企画室 室長 佐藤雄一郎 様
防災介助士インストラクター 富樫正義 様
- 国立環境研究所 福島地域協働研究拠点 室長 遠藤和人 様
- サクセスプラン 代表 / 一般社団法人防災プロジェクト 代表理事 中井政義 様
- 自然環境教育企画南風舎 代表/和歌山県キャンプ協会 理事 林美由貴 様
- 杉山診療所 精神科医師/DPATインストラクター 緑川大介 様
- 仙台市環境廃棄事業部廃棄物企画課 様
- 仙台市宮城野区まちづくり推進課 地域力推進担当 太田千尋 様
- ときわ会常磐病院乳腺外科 医師 尾崎章彦 様
- 日本医療学会認定指導薬剤師 橋本貴尚 様
- 日本赤十字社和歌山医療センター 外傷救急部/外科/精神科 医師 益田充 様
- 日本トイレ研究所 研究員 松本彰人 様
- 橋本市保健福祉センター 様
- 福島県南相馬市鹿島区地域振興課 職員 藤原道夫 様
- 宮城県 復興・危機管理部 復興支援・伝承課震災伝承班 吉村有香里 様 菊池亜紀 様
- みやぎ東日本大震災津波伝承館 様
- 和歌山県視覚障害者福祉協会 幸前勇 様
- 和歌山県聴覚障害者協会 理事 田村大希 様
- 和歌山子供・女性・障害者相談センター 所長心得 清山卓也 様
- 和歌山市危機管理局 様
- 和歌山信愛高等学校 須賀 先生 河合 先生
- 和歌山市BBS会 会長 高垣晴夫 様
- ALEC様
- Nagomi Lab. 様
- NPO法人ウィメンズアイ 代表 石本めぐみ 様
- NPO法人仮り暮らし 代表 徳永晃代 様
- NPO法人ローゼンベル 理事長 大沼えり子 様
- WOTA株式会社 様
- 三浦七海 様
- 山縣隼 様



2ヶ月間の軌跡

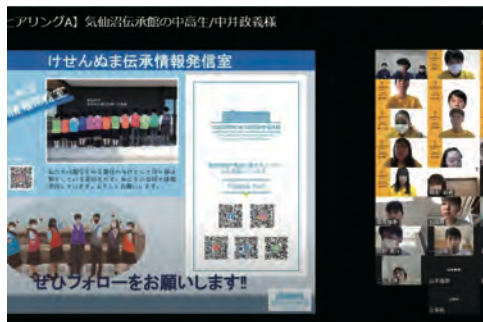
7/24・7/31 プレヒアリング A・B

8/7 キックオフデザイン思考 DAY

8/21 課題設定 DAY

8/28 ソリューションズ DAY

9/4 メンタリング DAY



プレヒアリング A では、中井様、気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館の中高生語り部様をゲストにお迎えし、東日本大震災についてご講演いただいた。プレヒアリング B では、避難所運営ゲーム HUG を Miro というアプリを使用してオンライン上で行った。

 中井政義様

 中高生語り部様



アドベンチャーワールドにて2ヶ月のアイデアソンをスタートした。ゲストに土井様をお迎えし、アイデアソン中に使用するデザイン思考についてフィールドワークを交えて学んだ。

 土井仁吾様



増田様をゲストにお迎えして課題設定についてご講演いただいた。「課題」と「問題」の相違、課題を設定することの意義について教わり、チームごとに課題を設定した。

 増田奈保子様



林様をゲストにお迎えし、課題から解決策をどのように設定するのかについて学んだ。また、前回設定した課題に対する解決策を考案した。

 林美由貴様



他のチームとの意見交流を目的に対面でのプログラムを実施した。交流の中で得た客観的なアドバイスをもとに課題をより明確化し、解決策の質を高めた。

9/11 中間報告 DAY

9/18 プロトタイプ DAY

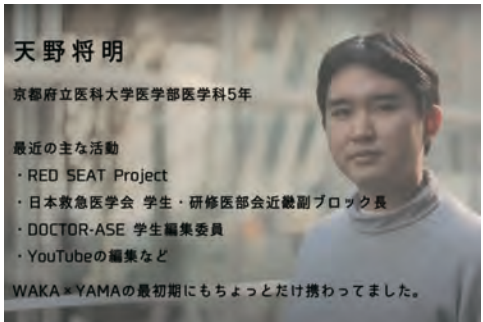
10/2 登壇チーム選考会

10/9 プレゼン練習 DAY

10/10 シンポジウム



この日までに中学生が考えてきた課題と解決策をアイデアシートを用いて発表した。審査員に岡本様、古澤様、中井様、清元様をお迎えし、中学生の発表内容を評価していただいた。審査員からのアドバイスを元に各チームはシンポジウムまでの指針を考えた。



中間報告 DAY で審査員の方からいただいたアドバイスをもとに課題・解決策のブラッシュアップを行った。ゲストに天野様をお迎えし、アイデアの実装に必要なプロトタイプ作成について、過去の事例を用いてご講演いただいた。

 天野将明様



開智中学校・高等学校にて、全9チームがこの日までに考えたアイデアを発表した。審査員に岡本様、南出様、村田様をお迎えし、評価していただいた。審査結果をもとにシンポジウムに登壇する6チームを決定した。

 岡本光代様

 南出考様

 村田七海様



シンポジウムに向けた最終確認の日となった。2ヶ月間の活動成果を存分に発揮できるよう、大学生のアドバイスを参考にプレゼンテーションを練習したほか、ポスター作成の作業を行った。



和歌山県民文化会館において、中学生と大学生チームが2ヶ月間の集大成を発表した。7名のゲストをお迎えし、発表の審査を行っていただいたほか、「和歌山の若者に期待すること」をテーマにトークセッションも行った。当日の様子は現地観覧に加え、YouTube 配信も行った。



シンポジウムについて

主催	学生団体 WAKA×YAMA	
事業名称	WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2022 シンポジウム 防災～被災後の心、身体、そして生活を守る～	
会場	和歌山県民文化会館 小ホール	
日時	2022 年 10 月 10 日（月・祝） 12:45 - 17:00	
入場・観覧料	無料	
観覧方法	観覧方法 現地観覧、YouTube によるライブ配信 アーカイブ視聴（要事前申し込み）	
集客実績	応募人数 386 人（うち現地観覧 50 人）	

コンテンツ	- トークセッション「和歌山の若者に期待すること」 「和歌山の若者に期待すること」をテーマに、代表山崎がファシリテーターとなり、7 名の審査員との対談を行いました。多方面で活躍されている分野の方々から様々な視点でのお言葉をいただくことができ、有意義なセッションとなりました。 - 中高生によるプレゼンテーション 登壇チーム 和歌山卅チベンジャーズ スーパーヒーロー 上田ツインズ team salmon チーム thirteen EJ20 エンジン - アドベンチャーワールド × 大学生の合同チームによるプレゼンテーション WAKA×PAN	  
-------	---	---

審査員	- アドバイザー  柳川 敏彦 様  益田 充 様  小山内 世喜子 様  佐藤 翔輔 様 - サポーター  古澤 良祐 様  山本 雅史 様 - 特別ゲスト  戸田 正人 様
-----	--

審査結果

シンポジウムで登壇した 6 チームのうち 4 チーム、またポスター賞に参加した 5 チームから 1 チームが表彰されました。

審査員賞 1 位	
今後の活動資金として、賞金 10 万円が授与されました。	
チーム名	EJ20 エンジン
学校	和歌山工業高等専門学校 2 年
アイデア	避難所の消灯時間が早く勉強ができない受験生のために勉強スペースの開放を考案しました。

審査員賞 2 位	
サポーターである山本雅史様より副賞が授与されました。	
チーム名	チーム thirteen
学校	智辯学園和歌山高等学校 1 年
アイデア	避難しづらい家出をした子供たちのために居場所を提供するアイデアを考案しました。

審査員賞 3 位	
サポーターである古澤良祐様より副賞が授与されました。	
チーム名	上田ツインズ
学校	和歌山信愛高等学校 1 年
アイデア	音が鳴ることで避難所で白杖を使いづらい視覚障がい者のために、音が鳴らずに蓄光で場所を知らせられる白杖を考案しました。

市議会議長賞	
特別ゲストである戸田正人様より賞状と盾が授与されました。	
チーム名	team salmon
学校	開智高等学校 2 年
アイデア	ラジオや電話で商品の在庫情報を得られない聴覚障がい者のために公式 LINE を作りました。

ポスター賞	
SNS（Instagram・Twitter）での投票、会場やホームページでの一般観覧者による投票により賞が授与されました。	
チーム名	Brain
学校	開智高等学校 2 年
アイデア	避難所で女性が生理用品を受け取りやすい“Period Box”を使った仕組みを考案しました。
	

チーム紹介

◆ おにぎりの具 ◆



和歌山信愛高等学校 1 年
岩淵鈴華 辻美帆 山本遥奈

◆ EJ20 エンジン ◆



和歌山工業高等専門学校 2 年
江川才翔 河村佳紀

◆ team salmon ◆



開智高等学校 2 年
岡本彩希 西畑彩莉 廣橋昌依

◆ 31 ◆



開智高等学校 2 年
西野晃斗 三根宏之

◆ チーム thirteen ◆



智辯学園和歌山高等学校 1 年
一ツ田智之 三木蒼人

◆ 上田ツインズ ◆



和歌山信愛高等学校 1 年
上田凛 上田和花奈

◆ スーパーヒーロー ◆



近畿大学附属和歌山高等学校 1 年
二目泰輝 溝端欽大

◆ 和歌山祀チベンジャーズ ◆



智辯学園和歌山中学校 3 年
川口宗真 小山温士 武野慧太 山出遥都

◆ Brain ◆



開智高等学校 2 年
田中環 直川明日菜 吉川真央

アイデアシート

チーム名	おにぎりの具	チームメンバー	岩淵鈴華、辻美帆、山本遥奈
学校名	和歌山信愛高等学校	インタビュー先	危機管理局、石本めぐみ様、古城様、小山内様、河合先生 手古先生、須賀先生、辻先生

課題	解決策
在宅避難をしている乳幼児もちのお母さんが、どの避難所に物資があるのか調べる手段がない 背景： 乳幼児は泣くことでしか自分の意思を表現することができない。 ヒアリングの結果、泣き声や騒ぎ声などによる周リへの配慮から避難所で生活できるお母さんが少ないことに気づいた。 子供を連れて物資を求めに避難所をあちこち回らなければならない。	アイデア名 +かる (プラスカル) 概要 アプリを使うことにより、在宅避難で支援物資を必要にしている人が確実に効率よく物資を受け取れる。 →支援物資の廃棄を防ぐことにつながる 平時でも使えるように歩数計をつける。避難所まで実際に歩き、歩数に応じてポイントが貯まる。ポイントが貯まると和歌山の特産品と交換してもらえる。 →近くの避難所までどんな道のりなのかを知るきっかけになる ※上の QR コードを読み取ると 避難アプリを体験することが できます ※iPhone はできません 今後の方針 既存の和歌山の防災アプリに導入していただけるように働きかけをしようと考えています。

おにぎりの具 メンター：田村優唯

女性問題について考えていきたいという 3 人の思いから女性に焦点を当てて考えていきました。対象者である女性の年代や状況を細かく設定することにとっても悩みました。対象者が「小さなお子さんをもつお母さん」に決まり、これからの方向性が明確になってからはとても前向きに取り組むことができました。初めてメンターをして、悩むこともたくさんありましたが、3 人の元気さや課題に対する思いの強さに支えられアイデアソンを無事に走り切ることができました。

チーム名	EJ20 エンジン	チームメンバー	河村佳紀・江川才翔
学校名	和歌山工業高等専門学校	インタビュー先	尾崎先生、みやさ東日本大震災津波伝承館様、橋本先生、 只野様、林様、小山内様、山縣様、佐藤そのみ様、 和歌山市危機管理局様、ALEC 様

課題	解決策
・避難所では消灯時間が決まっている ・様々な状況下の人たちとの共同生活のため周りの環境に気を遣う 体育館にて避難生活を送っている受援生が夜間に勉強したくても勉強できない	アイデア名 Break&Study (ブレスタ) 概要 被災時に受援生が勉強できるスペースを開発する 対象：受援生 (中高生) 時期：震災後 10 日～1、2 ヶ月程度 (仮設住宅への移行まで) 開放時間：16 時～23 時 ※ 20 時以降は送り迎えを行う 在中人数 2 人～3 人 (ボランティアを募る) 被災前から避難所に近い会社やワークスペースと提携する 今後の方針 10 月中旬：ヒアリングを重ねる (当時高校生の方・運営していた方) 10 月下旬：なごみら証様に提携のお話を持っていく 10/23・11/3：学生団体 WAKA×YAMA 主催の避難訓練に参加しプロトタイプを行う 12 月以降：活動の周知

EJ20 エンジン メンター：湯川舞夢

被災時に 10 代ってどんなことで困っているのかなということがこのアイデアの原点でした。後回しにされがちな 10 代の避難生活での課題。高校受験を経験したこの 2 人だからこそその解決策となりました。防災に対して人一倍熱い思いを持っている 2 人は、いざ南海トラフ地震が起こった時のために、これからも実装に向けて働きかけていくそうです。私も引き続きサポート・応援していきます。

チーム名	team salmon	チームメンバー	廣橋昌依 岡本彩希 西畑彩莉
学校名	開智高等学校	インタビュー先	山縣様、尾崎様、橋本様、小山内様、只野様、 和歌山市危機管理局様、和歌山県聴覚障害者協会様 公益財団法人日本ケアフィット共育機構様

課題	解決策
(被災後 4.5 日経って家の備蓄が切れた頃) 聴覚障がい者の方は被災時ラジオで地域の情報や店舗の情報を聞くことができない ↓ 店の開店状況やほしい商品の在庫状況がわからない ↓ 店に欲しいものが売っているかわからないため、何店舗も回らなければいけない ↓ 「1 人で在宅避難をしている聴覚障がい者の方が、店の開店状況や商品の在庫状況がわからないこと」	アイデア名 つなく mon 概要 LINE 公式アカウントを作って、店舗の開店状況や商品情報を発信する。 (災害時) 聴覚障がい者の方が特に必要となる日用品である補聴器の電池の情報を取り扱う。 対象者は和歌山県聴覚障害者協会の特定の方にし、和歌山市の一部の地域の店舗に協力してもらおう。補聴器の電池という項目を選択すると、近くのお店の開店状況や商品の在庫数が自動ですぐに送られる。一定の時間ごとに店舗から情報を送ってもらい新しい情報に更新していく。 (日常) 聴覚障がい者の方が悩みや困りごとをチャットで相談できる。 和歌山県聴覚障がい者協会が行っているイベントの情報発信をする。 聴覚障がい者の方が日常生活で利用できそうな商品やシステムを週に何回か紹介する。 今後の方針 ・初めは自分たちが小規模で運営し、安定したら運営してもらえる団体を探す ・より多くのお店に協力をお願いする ・店舗側が継続的に運営側に状況を報告する方法を考える ・対象者を増やし、対象地域を広げる ・ホワイトボードやお絵かきボードなど取り扱う商品を随時増やしていく ・さまざまな機能を使い、日常的に発信する情報を増やす

team salmon メンター：大曽根里桜

始めの頃はミーティングであまり意見が出ず、何度も課題を設定し直し、高校生も私自身も迷いに迷いました。諦めずに取り組む中で方向性が決まり、アイデアソン終盤には実装に向けて高校生自身が調べて活動するようになり、3 人の成長を感じた 2 ヶ月間でした。思うようにいかないことも多いアイデアソンでしたが、team salmon のメンターができて本当によかったです。3 人が考えたアイデアの実装に向けて、今後もサポートしていきます。

チーム名	チーム t thirteen	チームメンバー	一ツ田智之 三木書人
学校名	智学学園和歌山高等学校	インタビュー先	和歌山市危機管理部長、尾崎浩彦 様、只野英祐 様 専属人員 塩田 祐子 様、日本トイ研究所 松本彰人 様 大田千尋 様、橋本真尚 様、和歌山女子・女性・障害者相談センター様 和歌山市 BBS 様、徳永展代 様、大沼 えり子 様
課題	避難所に行けない背景を持った家出をしている中高生が、安心できる場所で生活したいと考えたときに、行くてくかない。 課題の背景： 児童相談所のマニュアルにも、家出をしている子への災害時の対応は記されています。検索をしても、家出をしている子の災害時の行動について、詳しい記事や論文などは出てきません。しかし、実際にこのような問題が起きています。 平常時から、家出は個人の問題、センシティブな内容、ということで、あまり大きくは取り上げられず、災害時にも周りが気づかれていない分、災害時にも周りが気づかれてず、苦しい思いをしている子たちがいます。		
解決策	アイデア名 P-three (ピースリー) 概要 まず、家出をしている中高生が避難所での場所を作ります。この場所は平時からの活用を重視しており、自発的な「居場所」として社会での「役割」を確立できることも目標にします。 平時には、和歌山県 BBS を連携し、いつでも遊びに行く感覚で自由に出入り可能な、安心できる居場所を提供します。災害時には、避難所に行きづらい中高生が集まり、情報共有の場やシルターとして機能させ、瓦礫処理や支援物資の荷物搬入など、復旧現場における役割も担います。また、災害が起きた、ある程度落ち着いた後、災害調査・通見を受け入れて、その子たちの面会を中高生が見る体制も整えていきたいです。こうした「居場所」を提供することで、家出をしている中高生が「自分役は立っている」と実感し、自信をもって安心して暮らしてできるようにします。 今後の方針 和歌山県 BBS を連携しながら、居場所となる場所を提供できる体制を整えます。同団体主催のゴミ拾いや夜回り活動に同行し、家出をしている中高生はこの活動を知ってもらい、家出をしている中高生自身の要望も実際に聞いていきます。また、災害調査、通見の受け入れを行えるよう、児童相談所の方とも連携してもらえるように、お願いしていきます。		

19

チーム名	和歌山県チベンジャーズ	チームメンバー	川口宗典 小山達士 武野楚太 山出遥都
学校名	智辯学園和歌山中学校	インタビュー先	尾崎先生、太田さん、和歌山市危機管理局 藤原さん、緑川さん、橋本市保健福祉センター

課題	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; padding: 5px;">解決策</td> <td style="padding: 5px;"> アイデア名 疲れを Footbath 概要 平常時から地域コミュニティ形成の場として、足湯を開設し、災害時には、被災者、市の職員、ボランティアなどが交流できる憩いの場とする。 ・一度に最大 10 人程度が入れ、顔を合わせられるような長方形の浴槽に、ひざまでつかうお湯を与える ・災害時には、そこで形成されているコミュニティが運営も行い、高齢者に対して社会的役割を与えることで孤独死を予防する。 ・衛生面や水不足の問題に関して、wota 株式会社の製品を利用することで、お湯を浄化しながら循環させる。 </td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の方針</td> <td style="padding: 5px;"> ・アイデアの実装を目指して活動する学生団体を設立する。 ・メディアを通して地域住民への認知度を上げる。 </td> </tr> </table>	解決策	アイデア名 疲れを Footbath 概要 平常時から地域コミュニティ形成の場として、足湯を開設し、災害時には、被災者、市の職員、ボランティアなどが交流できる憩いの場とする。 ・一度に最大 10 人程度が入れ、顔を合わせられるような長方形の浴槽に、ひざまでつかうお湯を与える ・災害時には、そこで形成されているコミュニティが運営も行い、高齢者に対して社会的役割を与えることで孤独死を予防する。 ・衛生面や水不足の問題に関して、wota 株式会社の製品を利用することで、お湯を浄化しながら循環させる。	今後の方針	・アイデアの実装を目指して活動する学生団体を設立する。 ・メディアを通して地域住民への認知度を上げる。
解決策	アイデア名 疲れを Footbath 概要 平常時から地域コミュニティ形成の場として、足湯を開設し、災害時には、被災者、市の職員、ボランティアなどが交流できる憩いの場とする。 ・一度に最大 10 人程度が入れ、顔を合わせられるような長方形の浴槽に、ひざまでつかうお湯を与える ・災害時には、そこで形成されているコミュニティが運営も行い、高齢者に対して社会的役割を与えることで孤独死を予防する。 ・衛生面や水不足の問題に関して、wota 株式会社の製品を利用することで、お湯を浄化しながら循環させる。				
今後の方針	・アイデアの実装を目指して活動する学生団体を設立する。 ・メディアを通して地域住民への認知度を上げる。				

チーム名	WAKA×PAN	チームメンバー	神谷雅彦、西川好加、長谷川舞、井田有美、藤田愛理
学校名	学生団体 WAKA×YAMA アドベンチャーワールド	インタビュー先	アドベンチャーワールド

課題	解決策 アイデア名 動物耳栓ガチャ 概要 これは動物をモチーフにした形状になっています。アドベンチャーワールドらしさや、着けるだけで気分が上がる、また子供さんにも気に入ってもらえるように〜という種類展開にしました。サイズは子供用と大人用を用意しています。そして、手軽に手に入れてもらえるよう1つ500円のカチャガチャにしています。災害時には無料でガチャガチャができるようにします。ガチャガチャをする必要が無い方には普通に配布しようと考えています。 今後の方針 プロトタイプの改良を重ね、着心地やサイズを検討します。実際に子どもにも耳栓を使ってもらい、周知します。耳栓の製造企業に協力を仰ぐなどし、さらに良いものにしていきたいと考えています。
----	--

和歌山FCベンジャーズ メンター：堀江海聖

参加チーム中、唯一の中学生チームでありながらも、のびのびとそれぞれの力を発揮してくれたと思います。僕自身の至らなさもあり、課題や解決策を考えていく過程では右往左往するところがありましたが、全員根気強く、アイデアを考えてくれました。一度方向性が決まってからは、それぞれがアイデアに対して自信を持ち始めているなど感じるほど、積極的にシンポジウムに向け、活動することができました。今回の活動が、4人の今後につながることを祈っています。

WAKA×PAN メンター：中田朝陽

アイデアソン史上初、中高生ではないメンバーでデザイン思考に取り組み、アイデアを創出しました。大学生の頭の柔軟性、そしてアドベンチャーワールドのスタッフの方々の現実を見る力をうまく融合し、アドベンチャーワールドらしいアイデアが生まれたのではないのでしょうか。メンターだったはずなのに、プレイヤーとして課題設定、アイデア創出に全力を尽くすぐらいにわくわくした2ヶ月でした。一緒に作り上げた大学生メンバー、そしてお忙しい中時間を割き、関わってくださったアドベンチャーワールドのスタッフの方々、本当にありがとうございました。

広報実績

テレビ・ラジオ

- WBS 和歌山放送「ゲンキ和歌山市」
2月15日、2月16日、5月19日、9月19日、9月20日
- WBS 和歌山放送「WA!ERA」
5月7日、10月8日
- Banana FM 87.7MHz
5月11日
- テレビ和歌山「6waka イブニング」
5月11日
- マエオカテツヤの全開！木曜日
5月19日
- WBS 和歌山放送「てっきゅう先生のサタデーナイト」
8月27日、9月3日
- NHK 和歌山「ギュギュっと和歌山」
10月26日

その他

- アドベンチャーワールド プレスリリース (HP)、パーク内ビジョン、ポスター
- わかやま駅前ビジョン
- 和歌山市フロンティアセンター

新聞・雑誌

- ドクターゼ 41号
4月25日
- わかやま新報
4月25日
- リビング和歌山
5月7日、10月1日
- 読売新聞
5月12日
- 紀伊民報
9月22日、10月3日
- ニュース和歌山
10月1日

テレビ和歌山「6waka イブニング」



マエオカテツヤの全開！木曜日



てっきゅう先生のサタデーナイト



NHK 和歌山「ギュギュっと和歌山」



ドクターゼ 41号



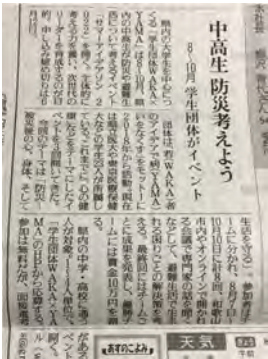
わかやま新報



リビング和歌山



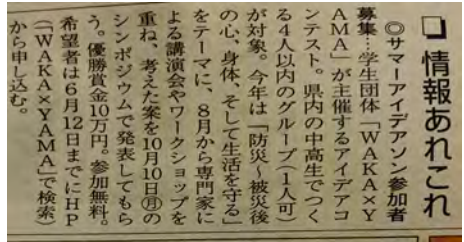
読売新聞



紀伊民報



ニュース和歌山



アドベンチャーワールド プレスリリース



市民公益活動情報誌

Frontier's フロントアース

ゲンキ和歌山市



WA!ERA



Banana FM 87.7MHz



パーク内ビジョン



ポスター



わかやま駅前ビジョン



協賛企業一覧

● 今年私たちが活動するにあたり、たくさんの企業様に支えていただきました。このように、WAKA×YAMA SUMMER IDEATHON 2022 を行うだけでなく、2022 年度活動できたのはご協賛いただきました皆様あってのことです。感謝を込めてご紹介させていただきます。



後援

和歌山県 | 和歌山市 | 和歌山県教育委員会 | 和歌山市教育委員会 | 和歌山市議会
株式会社和歌山リビング新聞社 | 株式会社和歌山放送

#パンダと楽しむ14週間

HAPPY PANDA FES 2022

ハッピーパンダフェス 2022

9/3 SAT - 9/19 MON
BIRTHDAY PARTY
誕生日パーティー

9/8 THU - 9/13 TUE
OTSUKIMI WITH PANDA
パンダとお月見

10/15 SAT - 10/31 MON
PANDA COSTUME FES
なりきりパンダフェス

11/1 TUE - 11/29 TUE
PANDA MUSIC FES
パンダミュージックフェス

9/3 SAT - 9/18 SUN
BAMBOO ILLUMINATION
永明 30 歳記念竹あかり

10/1 SAT - 10/31 MON
HARVEST FES
収穫祭

10/15 SAT - 11/29 TUE
PANDA ART FES
パンダアートフェス

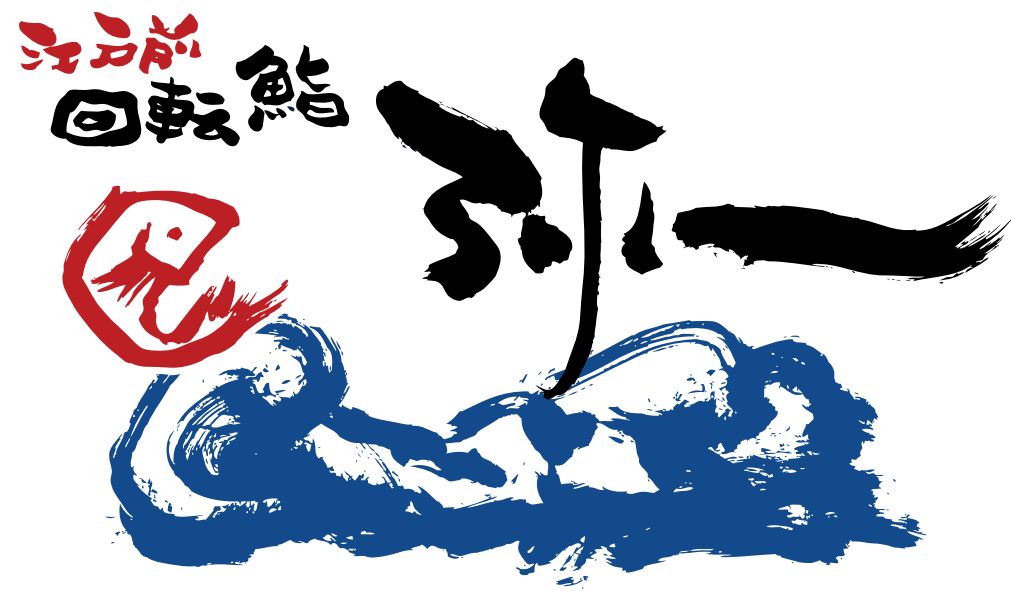
11/22 TUE - 12/5 MON
BIRTHDAY PARTY
誕生日パーティー

ADVENTURE WORLD

(お問合せ) アドベンチャーワールド インフォメーション 0570-06-4481

25

(動物取扱業登録表示) 名称: 株式会社アークス 事業所: アドベンチャーワールド 所在地: 和歌山県西牟婁郡白浜町豊田 2399 番地 動物取扱業の種別: 販売・保管・展示 登録番号: 和歌山県 04 第 6141・6142・6143・6144 号 登録年月日: 令和 4 年 6 月 1 日 有効期限の末日: 令和 9 年 5 月 31 日 動物取扱責任者: 今津孝二



宮街道店

〒640-8323
和歌山県和歌山市太田三丁目1-28
TEL: 0120-56-4181



紀ノ川店

〒640-8441
和歌山県和歌山市栄谷172-3
TEL: 0120-68-1018



岩出店

〒649-6245
和歌山県岩出市中島642-1
TEL: 0120-61-5987



阪急うめだ店

〒530-0017
大阪府大阪市北区角田町8-7
阪急うめだ本店12階
TEL: 0120-61-5987



堺中央環状店

〒599-8101
大阪府堺市東区八下町1-2
TEL: 0120-40-8140



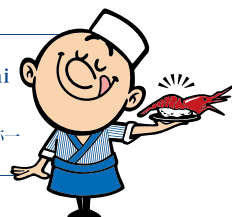
<https://sushi81.jp>



@sushi_yaichi



@江戸前回転寿司 弥一



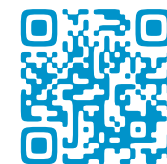
和歌山で！全国で！
ワクワクするようなスポットを
光でつくっています！



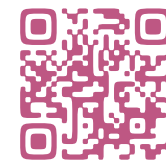
メルマガも
配信中！

光の演出で人の心を彩るWebマガジン
DIGISPOT

屋外照明、LEDサイン、イルミネーションなど
和歌山から世界へ向けて、
光の演出で人の心を彩るタカショーデジテック。
光の今や、現場の裏側を届けるWEBマガジンです。



WEB



Instagram



【東京】ソラマチ / イルミネーション



【和歌山】照らしやる矢櫃（やびつ） / ライティング



【東京】BY CRUISE / サイン

【大阪】HEP / ライティング

光のフェスティバルFeStA LuCeに
世界20カ所で同時期開催の **MAGICA** がやって来る！

フェスタ・ルーチェ in 和歌山マリーナシティ
2022.11.3thu-2023.2.12sun



「#フェスタルーチェ」をチェック！



Special
Present!

①Instagramフォローでオリジナルマスクプレゼント！

②ハズレなしのスクラッチでクリスマスプレゼント！

(小人チケットで入場の方限定)

11.3thu
START!!



株式会社宝樹は、
不動産から輸送まで地域の生活を応援します。



株式会社 宝樹

物流倉庫事業 / コインパーキング事業 / コインランドリー事業 / 車両販売事業 / クレーニング事業 / レース事業

グループ会社

宝樹運輸機工 株式会社
重量物輸送 / 特殊車両 / エリア輸送

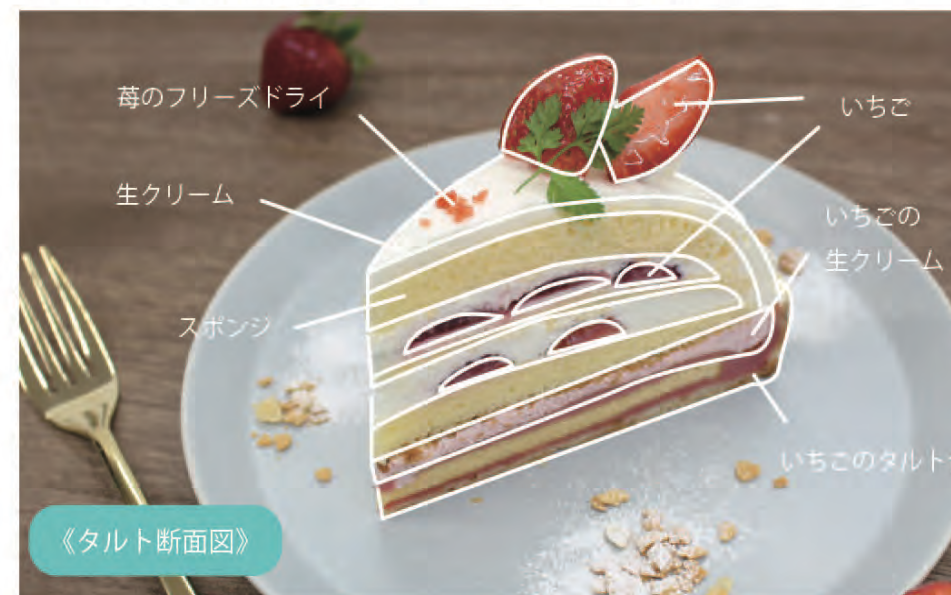
HJスタイル 株式会社
車両メンテナンス / 製作

株式会社 HOT
バス事業

お城ちかくのタルト屋さん

お城ちかくのタルト屋さん PKiA (プキア) です。2021年3月に和歌山市内で OPEN!!!
毎日キラキラのショーケースにはこだわりのタルトがたくさん並びます!
皆さんの日常が少しでもキラキラになるようわたしたちも楽しく製造、販売させていただきます。
今日も皆さんにとって素敵な一日になりますように。Have a nice day!!!

当日限定のタルトや
焼菓子も登場するかも!
PKiA のアプリや
Instagram で
Check してみてください!



Check①

- ☒ お店で作るふわふわのスポンジ。
- ☒ 種類によってことなるタルト台。
- ☒ 何層にも重ねたきれいな断面。
- ☒ 旬な食べ物を使った季節のタルト。



Check②

- ☒ キラキラのショーケース。
- ☒ ドライフラワーでいっぱいの落ち着いた空間。
- ☒ こだわりの詰まった焼菓子。
- ☒ 誰かにあげたくなっちゃうギフト。

Check③

PKiA のアプリでお得なクーポンや新しいタルト、イベント情報
など、最新情報をみなさんに発信します♪
PKiA 公式アプリで登録はこちらから→



Check④



種類豊富なホールケーキ♪
ご来店、お電話でのご予約受付しております。
※お受け取りの3日前までの受付です。

和歌山初のデニッシュ専門店!

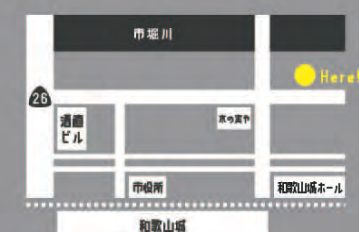


News

2022年10月28日
フォレストモール岩出内に
『PKiA cafe』が OPEN!!
洋菓子店が作るデニッシュをスタイリッシュな空間と、青空の日には
風を感じられるテラス席で、ぜひお楽しみください♪



〒640-8158 和歌山県和歌山市十二番丁 6 番地
☎073-488-5039 OPEN 10:00-19:00 SUNDAY 10:00-17:00
お車で越しのお客様は市営北駐車場への駐車にご協力をお願いいたします。



志を高く持ち、自ら学び、
自ら考え、自らの判断で
行動できる人物の育成

- 一、 あいさつは自分から心をこめてしよう。礼儀は良好な人間関係の第一歩だ。
- 一、 生き生きとした「眼差し」をしているか。それはすべてに勝る宝だ。
- 一、 失敗をおそれず挑戦しよう。挑戦のないところに成功はない。
- 一、 一度たてた目標や計画は粘り強くやり抜こう。安易な中断はゼロに等しい。
- 一、 常に反省し工夫しよう。向上心は新しい「自分」を創造する。

能開センター・個別指導アクシスは、自らの将来を切り開く力強い人物を育てることを目標にしています。

受講生募集中

目標達成に向け、最適なプランをご提案します。お気軽にご相談ください。

中学受験／高校受験／大学受験
確かな指導力による最適な指導

能開センター



個人別学習プランで一人ひとりの力を伸ばす

個別指導 ^{アクシス} **Axis**



WARAIYA & Co.



와라이야
WARAIYA

waraiya
wakayamajo

NEW STYLE
KOREAN
RESTAURANT & CAFE
WARAIYA

TAKE OUT STAND
LINER

jo
WARAIYA
BASQUE
CHEESE CAKE

- 飲食店運営・プロデュース・企画・立案
- デザイン・公園開発 etc.



日本の不動産をValue Up!

YESTAGE GROUP

■ 不動産仲介事業 ■

YESTAGE・kai

株式会社イエステージ・kai(カイ)

イエステージkai 

■ 不動産事業 ■

YESTAGE

株式会社イエステージ

イエステージ 

■ ガーデン・エクステリア事業 ■

machi deco lab

株式会社マチデコラボ

マチデコラボ 



和歌山県民主医療機関連合会



和歌山生協病院

(基幹型臨床研修指定病院)

和歌山生協病院・和歌山民医連は
無差別・平等の医療と福祉の実現をめざします

高校生一日医師体験や
医療系学生向け奨学金制度の
情報をチェック!



和歌山生協病院
ホームページ



和歌山民医連
ホームページ



損害保険・生命保険代理店
保険のことなら



株式会社 阪口興産

和歌山市本町三丁目 21

TEL 073-432-2865 FAX 073-431-5023

< 取扱い保険会社 >

日新火災海上保険
東京海上日動火災保険
三井住友海上火災保険
アフラック
SONPO ひまわり生命保険



黒沢牧場

牛の幸せ、みんなの幸せ



和医大生、未来の
医療従事者を応援しています



◎ 地域未来牽引企業



女性ドライバー応援企業

年中無休・いつでもOK!

相互タクシー配車センター

TEL (073) 471-5111

Dlp 第一薬局



everything for your smile



宣伝協力



● お問い合わせはこちらまでお願いいたします

✉ wakayamastudents@gmail.com

HP | <http://wakaxyama.jp/>

SNS | Twitter @WAKAxYAMA
Instagram @wakaxyama



